

<幼児向き>

「おすしのずかん」

大森 裕子／作

白泉社刊

まぐろ さーもん たいに あじ。た
こ えび たまごに はんぱーぐ。お
すしと おすしになる おさかなを
まなべます。みんなは なんの お
しが すき？

「きのみのケーキ」

たるいし まこ／さく

福音館書店刊

たぬきが つかった ケーキが なく
なっちゃった！？もりのみんなは……。

「イエペはぼうしがだいすき」

石龜 泰郎／写真 文化出版局編集部／文
文化出版局刊

デンマークに すんでいる イエペは
3さい。だいすきな ぼうしをかぶつ
て ほいくえんに いきます。

「さつまのおいも」

中川 ひろたか／文 村上 康成／絵
童心社刊

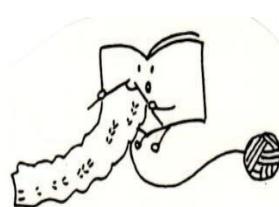
つちのなかで おいもたちは まいに
ち からだを きたえています。こど
もたちとの つなひきに まけないよ
うに。たとえ まけたって、すごーい
おかげしを しちゃいます。

「せきたんやのくまさん」

フィービ・ウォージントン／さく・え
セルビ・ウォージントン／さく・え
いしい ももこ／やく

福音館書店刊

くまさんの おしごとは、せきたんを
うることです。はたらきものの くま
さんの いちにちが はじめります。



「ごはん」

平野 恵理子／作

福音館書店刊

ごはんをつかったおりょうりが大
しゅうごう。オムライス おむすび
おすし かつどん…すきなごはんは
あるかな？

「もりのてぶくろ」

八百板 洋子／ぶん

ナターリヤ・チャルーシナ／え

福音館書店刊

もりに てぶくろの ような かたち
の はっぱが おちて いました。は
っぱに ぴったり あうのは だれの
て？

「やまなしもぎ」

平野 直／再話 太田 大ハ／画

福音館書店刊

3人のきょうだいは ぐあいの わる
い おかあさんのために おくやまに
やまなしを とりに いきます。

<低学年向き>

「干し柿」

西村 豊／写真・文

あかね書房刊

あまくてやわらかい干し柿は、もとはしぶ柿だったんですよ。どうしたらできるか、作り方もわかります。

「ぞくぞく村のおおかみ男」

末吉 晓子／作 垂石 真子／絵

あかね書房刊

おおかみ男のちくちく先生は、ぞくぞく村の歯医者さん。^{はいしゃ}うでがよく、いつも大きいそがし！そんなちくちく先生にはなやみがあって……。

「どんぐりもりのおきゃくさん」

香山 美子／文 飯村 茂樹ほか／写真

ひさかたチャイルド刊

さる、りす、ねずみ。いろんな動物たちがやってくるどんぐりもり。さて、きょうのおきゃくさん、だーれ？

「もいのかくれんぼう」

末吉 晓子／作 林 明子／絵

偕成社刊

こうえんであそんだかえりみち、けいこはおにいちゃんのあとをおって、いきどまりのいけがきをぬけると、そこにはみたこともないおおきなもりがありました。

「きょうのごはん」

加藤 休ミ／作

偕成社刊

きょうのごはんはなーに？ネコがばんごはんのパトロール。カレーにオムライスにコロッケ、どれもとってもおいしそう！

「おおきなおおきなおいも」

赤羽 末吉／さく・え

福音館書店刊

おいもの絵を描き始めた子どもたち。紙をどんどんつなげると、おおきなおおきなおいもができました。

「たのしいふゆごもり」

片山 令子／作 片山 健／絵

福音館書店刊

きのみ、きのこ、さかなに、はちみつ。くまのおやこは、もりのめぐみをあつめて、ふゆごもりのよういをはじめます。あたたかさがつたわっててくるきがしますよ。

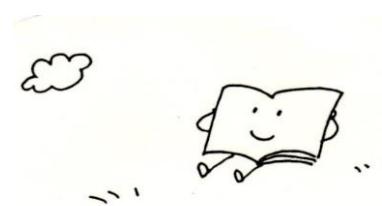
「番ねずみのヤカちゃん」

リチャード・ウィルバー／さく

松岡 享子／やく 大社 玲子／え

福音館書店刊

ドドさんの家に住むおかあさんねずみと4匹の子ねずみたちは、人間に見つからないようにこっそり暮らしていました。ところが、4番目の子ねずみ・ヤカちゃんは声が大きくて……。



<中学年向き>

「干したから…」

森枝 卓士／写真・文

フレーベル館刊
お米にパスタ、干し柿、魚の干物…
みんな干したものです。どうしてわざわざ干したのかな？干すと何が変わるのかな？

「アビーとテスのペットはおまかせ！」

トリーナ・ウィーブ／作

宮坂 宏美／訳 しまだ しほ／絵
ポプラ社刊

アビーのゆめは、じゅういになること！そこで、近所のウィルソンさんが飼っている金魚を、るすの間妹のテスとお世話させてもらうことにしました。2人は無事お世話できるのでしょうか。

「どんぐりと山猫」

宮沢 賢治／作 田島 征三／絵

三起商行刊

ある日、一郎に届いたおかしな葉書。「さいばんしますから、おいでんなさい。」それは山猫の判事とどんぐりたちの奇妙な裁判のお誘いでした。

「ゆきひらの話」

安房 直子／作 田中 清代／絵

偕成社刊

おばあさんがかぜをひいてひとりでねていると、台所のあたりでコトコトと音がします。だれもいないはずなのにいったいだれでしょう？

「おすしやさんにいらっしゃい！」

おかだ だいすけ／文

岩崎書店刊

みんなが好きなおすしもかつては生きものだった！生きものが食べものになるまでのお話。

「クモのアンシ」

フィリップ・M. シャーロック／再話

岩波書店刊

ジャマイカの昔話。アンシは、人々に人間になったり、クモになったりします。そして、ずるがしこさで自分より大きい動物を相手に大活躍。

「かみさまのベビーシッター」

廣嶋 玲子／作 木村 いこ／絵

理論社刊

幸介は福引きでかみさまのたまごを手に入れた。これで幸運にめぐまれて願い事もかなう、はずだったのに……。

「落ち葉」

平山 和子／文と絵

福音館書店刊

秋、色鮮やかに染まった落ち葉たち。同じ葉でも色や模様が様々です。自然が作り出す色の美しさを感じることができる本です。

<高学年向き>

「クローディアの秘密」ひみつ

E. L. カニグズバーグ／作

松永 ふみ子／訳

岩波書店刊

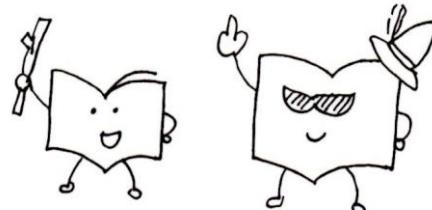
クローディアは、弟のジェイミーを
誘って家出をすることにしました。

なんと家出先はメトロポリタン美術館。
2人は、ミケランジェロ作とされる
天使の像の謎を解こうとします。

「怪盗紳士」かいとうしんし

ルブラン／原作 南 洋一郎／文

天才的な頭脳、驚異的な運動神経、自在
にその姿を変える変装の名人。風のご
とく現れ、風のごとく消える、その男
の名は怪盗紳士アルセーヌ・ルパン。
ルパンの華麗なる犯行をとくとご覧あ
れ。



「岸辺のヤービ」きしべ

梨木 香歩／著 小沢 さかえ／画

福音館書店刊

ある日、ウタドリさんが岸辺で出会つ
たのは不思議な生きもの「ヤービ」。す
てきなヤービとウタドリさんのあたた
かい交流が始まります。

「カマキリと月」

マーグリート・ポーランド／作

さくま ゆみこ／訳 リー・ヴォイト／画

福音館書店刊

月を捕まえようとカマキリはいろいろ
な方法を考え挑戦しますが……月を
捕まえることはできるのでしょうか。

「お蚕さんから糸と綿と」かに

大西 暢夫／著

アリス館刊

滋賀県の山麓の集落に、一軒だけ残つ
ている養蚕農家。春と秋、お蚕さんを
育て、繭から糸をとる。蚕と共に生き
る人々の姿を追う写真絵本。

「好奇心の部屋デロール」こうきしん

今森 光彦／文・写真

福音館書店刊

パリのふしぎなお店デロール。じっさ
いのはくせいや、標本ひょうほんを見せてくれる
博物館みたいなお店の中を写真でたく
さん紹介します。

「こんぴら狗」

今井 恭子／作 いぬんこ／画

くもん出版刊

人間のかわりに、犬が神社にお参りし
た！？江戸時代に、本当にあった話な
んです。江戸から、はるばる四国のか
んぴらさんへ、いざ、まいろうか！

「じゅみょう 寿命図鑑」じゅみょう

やまぐち かおり／絵 いろは出版／編著

いろは出版刊

動物、植物、食べ物、モノ、天体……
生き物だけでなく、こんなものも！？
いろいろなものの寿命を紹介します。